

分字四キアノ上

種子播く人

五

水

野

葉舟

燔祭の祭の煙

あがごとし遠き畑の殻み火

つけたり

泥手のまゝ飢乏てもの食ひ渴きたる喉を

鳴らして水のむら

彼らみる一切の愚痴すて去りて新鮮

且勇々種子よく

鳴りひびくゆづの如く空すめり種子播

いよみき

字間四分一アキ
行る等分アキ